

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Med Sci Monit, 2007; 13(5):BR112-118	Postprandial plasma lipid levels are influenced by the interaction of functional polymorphisms in the microsomal triglyceride transfer protein and β 3 adrenergic receptor genes.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Am J Hypertens. 2007 May; 20(5):527-32.	Association Between the Calcitonin-Related Peptide α (CALCA) Gene and Essential Hypertension in Japanese.	相馬正義	総合科 (内科担当)
International Journal of Medical Sciences. 2007 May; 16:4(3):146-52.	A novel variable number of tandem repeat of the natriuretic peptide precursor B gene's 5'-flanking region is associated with essential hypertension among Japanese females.	相馬正義	総合科 (内科担当)
2007 Jul;77(1):15-20.	Association between prostaglandin E2 receptor gene and essential hypertension. Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Hypertens Res 2007 Jul; 30(7):585-592	Common Single Nucleotide Polymorphisms in Japanese Patients with Essential Hypertension: Aldehyde Dehydrogenase 2 Gene as a Risk Factor Independent of Alcohol Consumption.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Hypertens Res. 2007 Sep;30(9):789-96.	Haplotype-based case-control study of the association between the guanylate cyclase activator 2B (GUCA2B, Uroguanylin) gene and essential hypertension.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Int J Med Sci. 2008 Feb; 7:5(1):29-35.	Association study of aromatase gene (CYP19A1) in essential hypertension.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Hum Mol Genet. 2008 Feb; 15:17(4):617-27.	High-density association study and nomination of susceptibility genes for hypertension in the Japanese National Project.	相馬正義	総合科 (内科担当)
Hypertens Res. 2008 Feb;31(2):203-12.	Identification of Hypertension-Susceptibility Genes and Pathways by a Systemic Multiple Candidate Gene Approach: The Millennium Genome Project for Hypertension.	相馬正義	総合科 (内科担当)
2008 May;26(5):902-13.	Association of TNFRSF4 gene polymorphisms with essential hypertension. Journal of Hypertension.	相馬正義	総合科 (内科担当)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 澤 充
管理担当者氏名	庶務課長：伊藤 伸行 医事課長：榎並 修一 病歴課長：千葉 哲夫 薬剤部長：丹正 勝久 医学部庶務課長：立石 重美

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病歴課	病歴資料については、カルテ、エックス線写真とも個人別、科別、年度別にファイルしており、外来資料については5年間、入院資料については永久保存を原則としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部庶務課 板橋病院庶務課	
	高度の医療の提供の実績	病歴課 当該診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病歴課 当該診療科	
	高度の医療の研修の実績	当該診療科	
	閲覧実績	病歴課 庶務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	庶務課 医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	庶務課 医事課 薬剤部	
体規則第9条の23及び第11条の11各号に掲げる	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室 庶務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染予防対策室 庶務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室 庶務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室 庶務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室 庶務課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染予防対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染予防対策室 庶務課
		従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染予防対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染予防対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための方策の実施状況	薬剤部
		従事者に対する医薬品の安全使用のための責任者の配置状況	庶務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技士室 中央放射線部 庶務課
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技士室 中央放射線部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務長 小林 清
閲覧担当者氏名	庶務課長：伊藤 伸行 会計課長：小島 和行 医事課長：榎並 修一 病歴課長：千葉 哲夫 医学部庶務課長：立石 重美
閲覧の求めに応じる場所	庶務課・病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	4件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 2件
	その他	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	61.3%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	21,391人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,841人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	6,948人	
	D：初診の患者の数	56,744人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて
小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11号各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・ 所属部員：専任 (1) 名 兼任 (8) 名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理室を設置し、医療安全管理委員会において検討された方針に基づき、組織横断的観点から安全管理対策を企画・立案・実施及び改善を図る。</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>日本大学医学部附属板橋病院は患者の生命の尊厳と安全を確保し、常に高度で先進的な医療を提供する特定機能病院として、安全管理体制の強化を図るため、平成12年3月に医療事故防止マニュアルを作成し、以下の指針及び安全管理体制の確保のための委員会並びに医療事故発生時の対応方法をマニュアル化し整備した。</p> <p>① 医療法の改正に伴い安全管理に関する基本的な考え方等医療安全管理指針を改定（基本理念及び完全管理指針）（平成12年3月制定、平成16年1月改定、平成19年9月改定）</p> <p>② 安全管理体制組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理室運営規則（平成16年1月制定、平成17年11月改訂） ・ リスクマネジャーに関する規則（平成16年1月制定）からセーフティマネジャーに関する規則と名称変更（平成18年9月改訂）また、諸規則に記載されている「リスクマネジャー」は「セーフティマネジャー」と読み替えて運用。 ・ 医療安全ワーキンググループ設置規約（平成18年4月制定、平成18年9月改訂） <p>③ 安全管理体制確保のための委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理委員会規則（平成12年5月制定、10月改定、平成14年4月改定、平成16年1月改定、平成17年11月改訂、平成19年9月改訂） ・ 医療事故対策特別委員会規則（平成12年5月制定、平成16年1月改定、平成17年11月改定） <p>④ 医療事故発生時の対応方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント・アクシデントレポート運用規則（平成12年5月制定、平成13年2月改定、平成13年4月改定、平成16年1月改定、平成18年9月改定、平成19年9月改定） ・ インシデント・アクシデントレポートフローチャート（平成12年5月制定、平成13年2月改定、平成13年4月改定、平成16年1月改定） ・ 重大医療事故報告ルートフローチャート（平成12年8月制定、平成14年4月改定、平成19年9月改定） <p>⑤ 患者相談室窓口運用要項（平成15年10月制定、平成16年1月改定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 患者相談窓口フローチャート 	